



仕事紹介

あいなん仕事紹介 その⑥

【町内で生き生きと仕事をしている方を紹介します。】

アトリエモカ MOCHA 立花 昌実^{まさみ}さん

【立花さんのプロフィール】

高校卒業後に高津理容美容専門学校で1年間勉強し、京都府と愛媛県のヘアサロンで3年ほど修行をして帰郷。

母が営む深浦のモア美容室で働いた後独立し、平成23年に蓮乗寺にアトリエモカMOCHAを開店。

美容師の技術を生かしたボランティアをしたいと思い、平成26年から※ヘアドネーションを開始。美容師としての技術だけでなく美容の勉強や着付けなどを学び、お客さんの要望に応えられるように努めている。



身近な職業だった美容師の仕事

蓮乗寺でアトリエモカMOCHAを経営する立花昌実さん。実家が美容室を営んでいたため、小さい頃から美容師の仕事を身近に感じながら育ちました。

高校時代に、得意な美術を生かした仕事がしたいと考えた際に、楽しそうに働く母親の顔が頭に浮かびました。自分も同じようになりたいと思い、美容師になることを志しました。

美容師資格を取得してからの勉強の日々

現在は専門学校で2年間勉強し、国家試験に合格すれば美容師の資格を取得できますが、立花さんが資格を取得した当時は、1年間専門学校で勉強し、もう1年は美容室で働きながら勉強することができました。

「資格を取ってからがスタートライン」と話す立花さんは、お客さん一人一人の要望に応えられるように、ヘアカットなどの髪に関する技術の向上だけでなく、着物の着付けや

頭皮・肌の美容に関する講習にも参加しています。

また、美容室を運営するためには、保健所の検査を受ける必要があるため、道具や店内を清潔に保つための衛生管理の勉強もしています。

資格を生かして社会貢献がしたい

資格を生かしたボランティアがしたいと思っていた時に、ヘアドネーションについて知りました。大阪にあるヘアドネーションを行っている協会に連絡して、平成26年から開始しました。現在アトリエモカでは、年間10人程のお客さんが髪を寄付しています。

自らも髪を寄付した経験を持つ立花さんは、「ヘアドネーションには31センチメートルが必要です。伸ばすのに3年くらいかかるので、いざやろうとすると難しいところがあるが、切られた髪が誰かの役に立っていると思うとうれしい」と話します。

今後について立花さんは、「お客さんをきれいにすることで、明るく元気になってもらえるようなサロンを目指したい」と意欲を見せました。



【所在地】愛南町蓮乗寺98-12

【開店】平成23年

【業務内容】髪のカットやパーマ、髪染め、着物の着付け、肌のエステなど

【営業時間】9:00~18:00※完全予約制(前日までに)

【定休日】月曜日・第3日曜日

【電話番号】72-1104

※上記情報(数値等)は令和3年3月現在のものです。



アトリエモカ
ホームページ



アトリエモカ
Facebook

※ヘアドネーションとは?

ヘアドネーションとは、小児がんや先天性の脱毛症などで頭髪を失った子どものために、寄付された髪の毛でウィッグ(かつら)を作り無償で提供する活動です。